

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する 連絡協議会」での口頭要請事項

●北海道、千歳市、苫小牧市の三者で構成する

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡会議」としての要請

- 1 土曜日・日曜日及び早朝・深夜の訓練を実施しないことなど、これまでの両市との協議経過を踏まえ、協定の内容を確実に遵守すること。
また、米軍帰還に際しても、土曜日・日曜日及び早朝・深夜に飛行することのないよう配慮すること。
- 2 自衛隊が通常使用している訓練空域や飛行経路、飛行方法によること。
- 3 米軍人の本道滞在中における規律の維持に万全の対応を行うこと。
- 4 訓練期間中は、貴局において騒音測定を実施するとともに、できる限り早期に結果を公表すること。
- 5 訓練の安全管理及び参加する戦闘機の整備・点検など安全確保に万全を期すこと。
- 6 説明会や米軍ブリーフィング及び戦闘機見学会の開催など、訓練に関する情報を住民、自治体、報道機関に詳細に提供すること。
- 7 訓練終了後の「検証」は必ず行うこと。
- 8 これまで実施された訓練移転によって、沖縄の負担がどの程度軽減されたのか、期限を決めて目に見える形で検証すること。
- 9 訓練に参加する米軍人の滞在中の行動に関し、新型コロナウイルス感染症拡大が懸念されることのないよう万全を期すこと。
また、感染症に関する情報は、国の責任において、情報収集を行い、適時・適切に公表するとともに、関係自治体に情報提供を行うこと。

●苦小牧市の個別要望

- 1 沖縄の負担軽減について、米軍外来機における飛来訓練等の抑制など、沖縄県の方々が負担軽減を実感できるように努めること。
- 2 千歳基地では、航空機からの部品落下が繰り返し発生していることから、米軍機を含む機体の整備、点検の強化を図るとともに、万が一事故が発生した場合は、原因究明及び再発防止策について速やかに情報提供を行うこと。
- 3 新型コロナウイルスの感染が拡大している中での訓練のため、米軍を含むすべての訓練関係者について、感染防止対策を一層強化するとともに、感染症に関する情報提供を行うこと。
- 4 新型コロナウイルスの感染が確認された場合は、濃厚接触者の特定が必要であることから、訓練関係者の行動記録について、速やかに情報提供を行うこと。
- 5 新型コロナウイルスの感染が懸念されるため、米軍人の行動については、任務上必要不可欠なものに留め、不要な外出は控えること。